

シー・エス C・S みやいけ

E-mail:info@miyaike-e.ed.jp



児童会役員との意見交換

学校運営協議会開催

7月15日(木)、第2回学校運営協議会が開催されました。

冒頭、榊原会長からは、「子どもたちが、地域に愛着を感じ、地域を「学びの場」と意識して成長して行ってほしい。そのために、先生方、保護者、応援団、ボランティア団体、社会福祉協議会、大学生など、地域のみんなが連携して時々に応じた応援が必要。幼い子どもから高齢の大人まで、世代を超えてふれあうことの楽しさや地域貢献の生きがいを感じられるような活動を進めていきたい。」とあいさつされました。



学校協議会会長あいさつ

笠井校長先生からは、「コロナ禍にあっても、子どもたちは元気いっぱい学校生活を送っている。今までできたことができなくなっている現状があるけれど、『できない』でなく『どうしたらできるか』知恵を出し合いながら取り組んでいきたい。地域の皆様の温かい応援で、学校は大変助けていただいている。心より感謝…」と、子どもたちの生活や教育活動の様子を紹介しながらあいさつされました。



校長先生あいさつ

学校運営協議会は委員10名の構成ですが、宮池小の場合は、委員・先生方の他に、子どものサポートを担ってくださっているPTA、応援団、社会福祉協議会、心の教室相談員、スクールソーシャルワーカー、大学生などの皆さんがオブザーバーとして出席して下さいます。



なんでも相談窓口



ママたちのおしゃべり会

「なんでも相談窓口」「ママたちのおしゃべり会」「子ども食堂」「子どもの居場所づくり」など、それぞれの担当から温かい支援活動が提起され、今後の取組を話し合っています。



子ども食堂



子どもの居場所づくり

以前、「学校は敷居が高い」などと言われた時期がありました。その頃は、学校・家庭・地域は、「それぞれの役割をしっかりと果たすことこそ大切」という考えでした。そのとおりですが、今は、「連携＝パートナーシップ」が何より大切だと思います。「地域とともにある学校」「学校とともにある地域」そんな思いで、地域の皆さんが気軽に学校へ足を運び、子どもたちや先生方とふれあう機会が増えています。こうした機会を大切に、「開かれた学校」にご尽力いただいている校長先生、教頭先生をはじめ、先生方に心より感謝申し上げます。



応援団



PTA会長



大学生(日本福祉大学)

児童会と学校運営協議会の懇談会



児童会役員の皆さん

学校運営協議会に引き続いて児童会との懇談会を開催しました。今回で4回目になります。この懇談会をもとに、一昨年の台風19号の災害支援募金活動、今年2月の半田病院の皆さんへの感謝メッセージに取り組んでいます。

今回も、役員一人一人から、「あいさつあふれる地域」「子どもと高齢者がふれあう機会」「募金活動」「通学路の安全」「除草などの環境整備」「コロナ対策(消毒スタンド設置)」など、地域の人たちと一緒にこんな学校、こんな地域にしたい！との思いで様々な提案がされ、あっという間に時間が過ぎていきました。話合いの結果を児童会へ持ち帰り、実行に向けて検討していくそうです。一緒に取り組める具体案が提案されることを楽しみにしています。子どもたちと年齢の近い若い人たちも、年齢のかけ離れた地域住民も、小学生と直接意見交換する機会は有意義です。

子ども食堂「みやっ子サロン」より



カレーライス調理中



テイクアウト容器詰め



調理、受付、駐車場整理などのスタッフ

昨年11月から毎月第4土曜日に開催し、今年6月で8回を数えます。コロナ警戒が続く中でいずれもテイクアウトですが、毎回70名前後の皆さんが訪れていただき、運営も徐々にスムーズになってきました。次回は7月24日(土)です。

「今日も楽しく調理させていただきました。たくさんの方が来てくださり、うれしそうに持ち帰られる姿を見ると、こちらもうれしくなります。」(6/26 調理担当のスタッフより)